

(公社)ふくしま緑の森づくり公社経営改善計画書(緑の森づくり新生プラン)の概要

I 基本的事項

1 計画策定の趣旨

- 森林の有する多面的機能の発揮のため、健全な森林資源の維持造成を推進
- これまでの経営改善の取組の成果と課題等を踏まえ、今後の公社の中期的な施策の基本的方向を明らかにする
- 当面5年間の具体的な目標を設定し、着実な実行を図る

2 【改訂】第2次改善計画等の成果

- 公社自らの改善策 約52億円(推計3.5億円含む)の削減
・公庫資金低利資金借換 ・人件費等管理費の削減など
- 県の支援策(公庫資金の繰上償還) 約34億円の削減
- 土地所有者の協力
分収割合変更契約達成率 65.6%(平成26年3月末現在)
(うち市町村、財産区は98.0%達成)
※土地所有者の協力を除く全体の成果額 約86億円

計画期間・進行管理

- 平成26年度～平成30年度の5か年間
- 公社経営改善管理委員会にて進行管理

II 経営の課題と目標(基本的方向)

○森林の公益的機能の持続的発揮

- ・効率的な森林整備→・森林整備の重点化
- ・森林資産の把握等→・不採算林等※の管理のあり方検討

○木材の生産、販売対策

- ・木材生産コストの低減→・計画的な路網整備
- ・需要動向に対応するための体制整備
→・林業団体等との連携・多角的販路の開拓

○公社運営の改善(コスト削減)

- ・公社自らの改善→・財務状況の改善 ・組織体制の見直し検討
- ・関係者への協力、支援要請
→・分収割合の変更依頼
・新たな借入金を最小限に抑制のための支援策要請

※ 不採算林等: 搬出困難な造林木、育成の芳しくない造林木

III 経営改善重点取組事項

1 森林の整備に係る重点的な取組

○効率的な森林整備

- ・必要最小限の森林整備の実施
- ・ふくしま森林再生事業への取組

現況 H30目標

- 目標 ・森林整備面積 997ha → 800ha
- ・作業路整備 8,716m → 12,800m

○不採算林等の基準の検討等

- 目標 ・実態把握
- ・適正管理のための施業基準の見直し

2 木材の生産と収入確保に係る重点的な取組

○木材生産コスト低減のための路網整備

現況 H30目標

- 目標 ・作業路整備 8,716m → 12,800m(再掲)

○需要動向に対応するための体制整備

- ・木材需要の把握、多様な販売方法→販路開拓

現況 H30目標

- 目標 ・木材販売収入 8,997千円 → 18,000千円

3 財務状況の改善に係る重点的な取組

○組織の見直し

- 公益社団法人への移行 ・H26.4.1移行
- 職員体制 ・必要最小限の体制を目指す

○管理費等運営経費の縮減

- 管理経費等の節減 目標 ・H30年度10%削減(現況値対比)

○効果的な補助事業等の積極的導入

- 分収割合の見直し (公社6:土地所有者4)→(公社8:土地所有者2)

- 目標 ・H30年度→75% ・計画期間内の覚書発効を目指す

- 国、県等の協力、支援の要請→・無利子貸付継続・事業資金補助